

文学部 史学・文化財学科(日本史・アーカイブズ コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(史学・文化財)	1						
		基礎演習(史学・文化財)	1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		キャリア教育 I	2	ボランティア活動論	2				
		市民生活とアーカイブズ	2						
	コア1	文学	2	スポーツと健康	2				
		哲学	2						
		日本文化史	2						
		心理学 I	1						
		体育実技 I	1						
	コア2	法学(日本国憲法)	2	社会学	2				
		国際文化論1	2	情報文化論	2				
		社会生活概論	2						
	コア3	生物学	2						
	コア4	情報リテラシー I	2						
		情報リテラシー II	2						
	コア5	英語1	1	英語3	1				
		英語2	1	英語4	1				
		TOEIC1	1						
		TOEIC2	1						
中国語コミュニケーション1		1							
外書講読			外書講読1	1	外書講読3	1			
			外書講読2	1	外書講読4	1			
小計	—	34	—	13	—	4	—	0	
共通専門科目	日本史概論1	2	博物館概論	2	博物館学各論 I(博物館資料論)	2	地方行政論	2	
	日本史概論2	2	デジタルアーカイブズ	2	博物館学各論 II(博物館情報論・経営論)	2	地方自治論	2	
	世界史概論1(西洋史)	2							
	世界史概論2(東洋史)	2							
	考古学概論	2							
	環境歴史学概論	2							
	小計	—	12	—	4	—	4	—	4
	演習科目			発展演習1(史学・文化財学)	1	専門演習1(近現代史1)	1	卒業演習1(近現代史1)	1
				発展演習2(史学・文化財学)	1	専門演習2(近現代史1)	1	卒業演習2(近現代史1)	1
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2
学科専門科目			アーカイブズ論 I	2	博物館実習	1	国際交流論	2	
			アーカイブズ論 II	2	アーカイブズ実習 I	1	宗教史	2	
			アーカイブズ管理論 I	2	アーカイブズ実習 II	1	法制史	2	
			アーカイブズ管理論 II	2					
			日本史講義1(古代史料論)	2					
			日本史講義2(中世史料論)	2					
			日本史講義3(近世史料論)	2					
			日本史講義4(近代史料論)	2					
小計	—	0	—	20	—	3	—	6	
コース専門科目					日本史特講1(古代史)	2			
					日本史特講2(中世史)	2			
					日本史特講3(近世史)	2			
					日本史特講4(近現代史)	2			
小計	—	0	—	0	—	8	—	6	
合計	—	46	—	39	—	21	—	18	124
主要科目1	科目名	市民生活とアーカイブズ	デジタルアーカイブズ	専門演習1(近現代史1)	卒業論文1				
	特徴	公文書館についての入門。一部外部講師を交えてのオムニバス形式。外部講師は公文書館や現場の方であり実地を知ることができる。	デジタルはいまや避けて通れない必須知識である。この授業ではデジタルカメラを使いこなすことだけでなく、文化財などのデジタル記録化の実技も身につける。	近現代の史料の読解能力と調査能力を身につける。そのために辞典類の活用を徹底して行う。疑問は討論でぶつけよう。この2つをこなせるようになることで、リサーチ能力とコミュニケーション能力を高めよう。	卒業論文の作成を指導が主であるが、4年生の生活指導、就活指導も一括して行う。4年間の総括である卒業論文作成を通じて自主性を育てる最終階級であり、自立を援助する。				
目的	あたらしい分野であるアーカイブズについての理解を得て、教養と専門教育の基礎とする。	デジタル技能を身につけ、準デジタル・アーキビスト資格(日本デジタル・アーキビスト資格認定機構)を取得する。	専門調査研究の基礎訓練	卒業論文作成調査研究の指導と支援、生活と就活の支援					
主要科目2	科目名	日本史概論2	アーカイブズ管理論 II	アーカイブズ実習 I	卒業論文2				
	特徴	近現代史を中心とした日本史のあらすじを理解するための授業です。なるべく画像を多数用いて臨場感を味わいながら、歴史の流れを理解します。	レコードマネジメントの基礎を学ぶ。レコードとは保存期限内の現用文書のこと、現在オフィスで用いている文書のことです。保存期限が切れても廃棄しないで保存するとアーカイブズになります。	歴史的アーカイブズすなわち古文書と行政文書の本物を扱います。夏には自治体の教育委員会と協力して合宿して文書整理を行い、大分県立公文書館で実習を行います。	卒業論文の仕上げの指導。学生は論文作成でオリジナリティを出すことに苦むが、指導は厳しくおこない、学生の成長を支援する。				
目的	2年次以降の専門教育の基礎を固めると同時に、市民としての教養を得る。	レコードマネジメント技能を身につけ、記録情報管理者資格(日本記録情報管理振興協会)を取得する。	アーカイブズの取り扱い能力の獲得	卒業論文の仕上げの指導					

文学部 史学・文化財学科(世界史コース※西洋史専攻の場合)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(史学・文化財)	1						49
		基礎演習(史学・文化財)	1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		キャリア教育 I	2	ボランティア活動論	2				
		市民生活とアーカイブズ	2						
	コア1	文学	2						
		世界文化史	2						
		心理学 I	2						
		体育実技 I	1						
		体育実技 II	1						
	コア2	法学(日本国憲法)	2	社会学	2				
		国際文化論1	2	情報文化論	2				
		社会生活概論	2						
	コア3	生物学	2						
	コア4	情報リテラシー I	2						
		情報リテラシー II	2						
	コア5	英語1	1	英語3	1	TOEIC1	1		
英語2		1	英語4	1	TOEIC2	1			
フランス語基礎1		1							
フランス語基礎2		1							
外書講読			外書講読1	1	外書講読3	1			
			外書講読2	1	外書講読4	1			
小計	—	34	—	10	—	5	—	0	
専門科目	共通専門科目	日本史概論1	2	博物館概論	2	まちづくり特論	2	地方行政論	2
		日本史概論2	2				2		
		世界史概論 1(西洋史)	2				2		
		世界史概論 2(東洋史)	2						
		文化人類学	2						
		世界遺産学概論	2						
		環境歴史学概論	2						
	小計	—	14	—	2	—	6	—	2
	演習科目			発展演習1(史学・文化財学)	1	専門演習1(西洋史)	1	卒業演習1(西洋史)	1
				発展演習2(史学・文化財学)	1	専門演習2(西洋史)	1	卒業演習2(西洋史)	1
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2
	学科専門科目			アーカイブズ論 I	2	博物館実習	1		
				アーカイブズ論 II	2	アーカイブズ管理論I	2		
				世界史講義1(東洋史)	2	アーカイブズ管理論II	2		
				世界史講義(アジア史)	2	歴史地理	2		
				世界史講義(西洋史)	2	法制史	2		
				世界史講義(文明史)	2	国際交渉論	2		
			史学概論	2	地誌学	2			
小計	—	0	—	16	—	15	—		
コース専門科目					世界史特講1(東洋史)	2			
					世界史特講2(アジア史)	2			
					世界史特講3(西洋史)	2			
					世界史特講4(文明史)	2			
小計	—	0	—	0	—	8	—	6	
合計	—	48	—	30	—	36	—	10	124
主要科目1	科目名	大学史と別府大学	発展演習1(史学・文化財学)	専門演習1(西洋史)	卒業演習1(西洋史)				
	特徴	別府大学の歴史を主に戦後の歴史のなかに位置づけて講義する。	それぞれの関心にしたがって、プレゼミ的な演習を行う。	地中海世界について書かれた欧文の概説書を読む。	各人が関心を持つテーマについて、卒業論文のテーマ設定、参考文献収集、構想設定等を行う。				
主要科目2	科目名	世界史概論1(西洋史)	世界史講義1(西洋史)	西洋史特講3(西洋史)	卒業演習2(西洋史)				
	特徴	西洋古代から現代までの歴史理論から世界史を把握する。	高校世界史のギリシア・ローマ史を読み直す。	古代ローマの社会と経済を多方面から講義する。	各人が設定したテーマに関する報告を行い、最終的に卒業論文を完成させる。				
	目的	自分の大学の歴史を学ぶことによって大学へのアイデンティティーを高める。	3年生の専門演習の前段階として基本的な専門知識を養う。	原書を厳密に読解する訓練を行う。	卒業論文作成のための準備を行う。				
	目的	世界史の研究と教育のあり方を考える。	ヨーロッパ文明の源流を理解する。	古代ローマの世界史的な位置を学ぶ。	卒業論文を作成することによって、テーマの設定方法、文献収集、書き方の方法を習得する。				

文学部 史学・文化財学科(考古学・文化財科学コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(史学・文化財)	1						
		基礎演習(史学・文化財)	1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		キャリア教育 I	2			まちづくり特論	2		
		市民生活とアーカイブズ	2						
	コア 1	文学	2						
		日本文化史	2						
		心理学 I	2						
		体育実技 I	1						
		体育実技 II	1						
	コア 2	法学(日本国憲法)	2	社会学	2				
		国際文化論 1	2	情報文化論	2				
		社会生活概論	2						
	コア 3	生物学	2						
コア 4	情報リテラシー I	2							
	情報リテラシー II	2							
コア 5	英語 1	1	英語 3	1					
	英語 2	1	英語 4	1					
	中国語コミュニケーション 1	1							
	中国語コミュニケーション 2	1							
小計	—	32	—	7	—	4	—	0	
専門科目	共通専門科目	考古学概論	2	博物館概論	2	まちづくり特論	2	地方行政論	2
		文化財科学概論	2	視覚教育メディア論	1		地方自治論	2	
		世界遺産学概論	2	世界遺産研究(国外)	2				
		日本史概論 1	2	地理学概論	2				
		日本史概論 2	2	生涯学習論 I	2				
		民俗学概論	2						
		環境歴史学概論	2						
		文化人類学	2						
	小計	—	16	—	9	—	2	—	4
	演習科目			発展演習 1(史学・文化財学)	1	専門演習 1(考古学・文化財科学)	1	卒業演習 1(考古学・文化財科学)	1
				発展演習 2(史学・文化財学)	1	専門演習 2(考古学・文化財科学)	1	卒業演習 2(考古学・文化財科学)	1
		小計	—	0	—	2	—	—	2
	学科専門科目			考古学講義 1(先史考古資料論)	2	博物館実習	1		
				考古学講義 2(歴史考古資料論)	2	美術工芸論	2		
			考古学講義 3(埋蔵文化財学)	2	歴史地理	2			
			文化財科学講義 2(保存修復)	2	宗教史	2			
			文化財保護論	2	博物館各論 I(博物館資料論)	2			
			環境考古学	2	博物館各論 II(博物館情報論・経営論)	2			
			環境史	2	人類学総論	2			
小計		—	0	—	16	—	13	—	0
コース専門科目					考古学特講 2(弥生・古墳考古学)	2	考古学特講 1(旧石器・縄文考古学)	2	
					考古学特講 3(歴史考古学)	2			
					考古学実習 I・II	1			
					埋蔵文化財調査実習 I・II	1			
	小計	—	0	—	0	—	7	—	8
合計	—	48	—	34	—	28	—	14	124
主要科目 1	科目名	考古学概論	考古学講義 2(歴史考古資料論)	専門演習 1(考古学・文化財科学)	卒業演習 1(考古学・文化財科学)				
	特徴	考古学の方法論と年代観、文献史学と考古学の関係等について概説する。	有文字の時代・有史の時代を対象とした歴史考古学について論ずる。	弥生時代の北部九州には平野単位にクニが形成され、奴国あるいは伊都国を中心としてクニの連合体が形成されていたと見られている。そこで、近年の調査成果について報告書や主要論文をとりあげ、各クニの様相についてグループ分けした受講生に発表させつつ検討する(グループゼミ形式)。	卒業論文への具体的な第一歩として位置付ける。当初の1ヶ月で、各自、書きたい卒業論文の研究対象を絞り込んでゆく。				
	目的	原史・古代を中心に、時代順に主要なテーマ(遺跡)をとりあげ、考古学の方法と成果を概観する。	考古学という学問と、文献史学という学問、それぞれの成果を用いて、より深い理解を実践できることが魅力であるが、両学問へのある程度の習熟を目的とする。	クニの連合体がいかなる実態を持ち、それが那馬台国、さらにはヤマト政権の出現にあたってどういう役割を果たしたかを考える。	前期に関しては、主に卒業論文構成中の「研究史」部分の完成を主眼に置く。				
主要科目 2	科目名	文化財科学概論	文化財科学講義 2(保存修復)	考古学実習 I・II	卒業演習 2(考古学・文化財科学)				
	特徴	文化財を自然科学的な方法で取り扱うことにより、文化財を保存する環境とは何か、修復するためのにはどんなことをすればよいのかを概説する。	文化財の保存修復について基礎的な知識を習得します。	遺跡から出土した遺物がどのように取り扱われるのかを知ることも、資料化の第一歩として実測の基本的技術を身に付ける。	当初の1ヶ月で、夏季休暇中の研究成果を集約し、新に生じた問題点を解決する。				
	目的	自然科学的な測定が文化財(考古、美術、環境)資料のためにどのように貢献しているのかをできるだけ詳しく講義する。	埋蔵文化財(出土金属製遺物や出土木製遺物、大分県に多く存在する石遺物などの保存を取り上げ、それらの修理がどのように行われているのかについて学びます。	文化財専門職を目指したい学生達に必須であるのは、古墳時代の「須恵器」呼ばれる土器の実測です。何故かという、行政の採用試験において、この「須恵器」の実測が課題されることが極めて多数を占めるからです。専門職育成のための第一歩を踏み出す実習となる。	社会においても役立つ情報分析・文章構成・プレゼンテーション能力を培うことをねらいとしている。				

文学部 史学・文化財学科(環境歴史学・文化遺産学コース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(史学・文化財) 基礎演習(史学・文化財)	1 1						
	学際科目	大学史と別府大学	2	インターンシップ I	1	キャリア教育 II	2		
		キャリア教育 I	2			まちづくり特論	2		
		市民生活とアーカイブズ	2						
	コア1	文学	2						
		日本文化史	2						
		心理学 I	2						
		体育実技 I	1						
	コア2	体育実技 II	1						
		法学(日本国憲法)	2	社会学	2				
		国際文化論1	2	情報文化論	2				
	コア3	社会学	2						
		国際文化論2	2						
	コア4	生物学	2						
		情報リテラシー I	2						
コア5	情報リテラシー II	2							
	英語1	1	英語3	1					
	英語2	1	英語4	1					
	中国語コミュニケーション1	1							
小計	中国語コミュニケーション2	1							
	—	32	—	7	—	4	—	0	
専門科目	共通専門科目	美術史概論	2	博物館概論	2	まちづくり特論	2	地方行政論	2
		日本史概論1	2	視聴覚教育メディア論	1			地方自治論	2
		世界史概論1(西洋史)	2						
		考古学概論	2	地理学概論	2				
		文化財科学概論	2	生涯学習論 I	2				
		世界遺産学概論	2						
		民俗学概論	2						
		環境歴史学概論	2						
	小計	—	16	—	7	—	2	—	4
		演習科目		発展演習1(史学・文化財学)	1	専門演習1(環境歴史学)	1	卒業演習1(環境歴史学・文化遺産学)	1
	小計		0	—	2	—	2	—	2
		学科専門科目			発展演習2(史学・文化財学)	1	専門演習2(環境歴史学)	1	卒業演習2(環境歴史学・文化遺産学)
				環境歴史学講義1(環境歴史論)	2	博物館実習	1		
				環境歴史学講義2(環境歴史地理論)	2	美術工芸論	2		
				文化遺産学講義1(民俗資料論)	2	歴史地理	2		
			文化遺産学講義2(石造文化財資料論)	2	人類学総論	2			
			文化財保護論	2	宗教史	2			
			環境史	2	博物館各論 I(博物館資料論)	2			
			世界遺産学特論	2	博物館各論 II(博物館情報論・経営論)	2			
小計	—	0	—	16	—	13	—	0	
	コース専門科目					環境歴史学・文化遺産学実習 I(村落遺跡調査法)	1	環境歴史学・文化遺産学実習 III(伝統的修復法)	1
					環境歴史学・文化遺産学実習 II(民俗学調査法)	1	観光地理学特講	2	
					民俗学特講	2			
					環境歴史学特講1	2			
					環境歴史学特講2	2	卒業論文	6	
小計	—	0	—	0	—	8	—	9	
	合計	—	48	—	32	29	—	15	124
主要科目1	科目名	民俗学概論	環境歴史学講義1(環境歴史論)	文化遺産学講義2(石造文化財資料論)	環境歴史学特講1				
	特徴	他界・祖霊・神・鬼など精神的分野を民俗学から考察する。	環境歴史学について実例をあげながら考察する。	石塔や磨崖仏などの石造文化財について、その形態的特徴を考察する。	環境歴史学の対象となる地域の景観から歴史を構築する。				
	目的	日本人の基層文化のありかたについて学習する。	環境歴史学の調査研究方法について学ぶ。	石造文化財の種類とその形態について学ぶ。	環境歴史学の研究法などをより深く学ぶ。				
主要科目2	科目名	環境歴史学概論	文化遺産学講義1(民俗資料論)	民俗学特講	環境歴史学特講2				
	特徴	文字資料のみならず自然と人間が作り出した景観から歴史を構築する。	歴・時制・年中行事・人生儀礼など時間に関わる基層文化を考察する。	民俗文化財に関わる芸能・祭礼行事等について考察する。	地域と密接な関係をもつ石造物や仏教美術について考察する。				
	目的	環境歴史学の新しい方法論とこれまでの経緯を学ぶ。	時間を日本人はどのように理解してきたかを学ぶ。	民俗文化財の基礎とその対象となる事象を学習する。	石造物や仏教美術から地域史のありようを学ぶ。				